

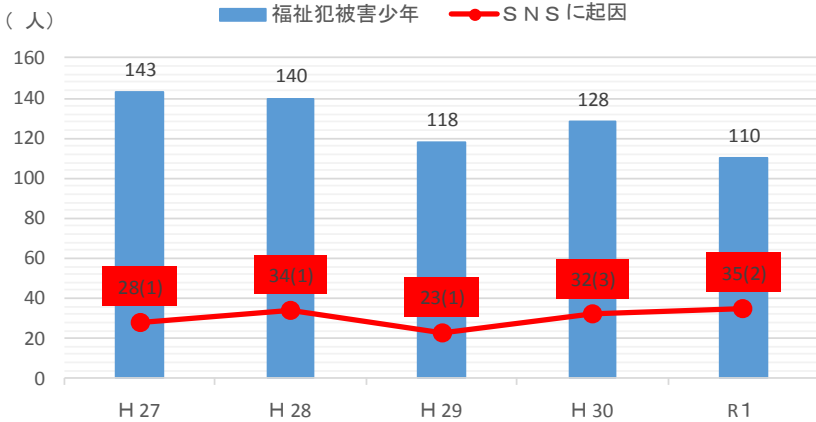
保護者のみなさまへ

子供が、SNSを通じて犯罪に巻き込まれる被害が増えています。

インターネットは、緊急時の連絡等、便利な反面、インターネット上には様々な情報が氾濫しており、使い方を間違えると犯罪に巻き込まれる危険もあります。

子供にスマートフォン等を持たせる場合、ネットリテラシー（インターネットを適切に使いこなす能力）が未熟なため、大人が適切に管理し、見守っていくことが大切です。

SNSを通じて被害にあった児童・生徒数（茨城県）



※ 福祉犯とは、児童買春・児童ポルノ禁止法違反など少年の心身に有害な影響を与え、少年の福祉を害する犯罪をいう。括弧内は、誘拐や強制わいせつ等の重要犯罪等の被害を示す。

【令和元年中の特徴等】

- 福祉犯被害少年110人のうち、SNSに起因して犯罪被害に遭った少年は**35人**（過去5年で最多）
- 学職別では、中学生（18人）、高校生（17人）で全て女子
- 罪種別では、児童ポルノ（18人）が最多、青少年健全育成条例（10人）、児童買春（2人）の他、強制わいせつや略取誘拐による凶悪犯被害（各1人）も発生
- 過去には、**男子中高生が被害**に遭った事件も発生



フィルタリングを必ず利用しましょう!

従来型の携帯電話は①、スマートフォンは①②③に対応するフィルタリングが必要!



子供が安全にインターネットを利用するためには、スマートフォンの場合、①②③の3つのフィルタリングが必要となります。携帯電話大手3社が提供する「あんしんフィルター」などでは、簡単な設定で①②③のフィルタリングが可能です。

①携帯電話回線による接続

②無線LAN回線(Wi-Fi)による接続

③アプリによる接続



使用時間や利用できるアプリの制限など、子供の学齢に応じた制限レベルを設定しましょう。

※iPhoneでのアプリ制限や利用時間制限は、端末の設定を行う必要があります。

～家庭でのルールづくり～

犯罪やトラブルからお子さんを守るために、フィルタリングの利用とともに、日頃から家庭でのコミュニケーションをとり、お子さんにインターネットの危険性を教えることや、一緒に家庭のルールを作ることが大切です。

ルール作りは、できるだけスマホ等をお子さんに持たせる前に決めましょう! また、ルールを守れなかったときのルールも決めましょう!

以下の点を子供に注意しているか、チェックしてみましょう!

- 接続するサイトやダウンロードするアプリは保護者に確認する。
- 個人を特定される情報を書き込まない。
- 知らない人と電話やメール、メッセージの交換をしない。
- 他人のID・パスワードを勝手に使わない。
- 下着姿や裸の写真は撮らない、撮らせない。
- 利用料金や利用時間を決める。
- 困ったことがあれば、必ず保護者にすぐに相談する。
- ルールを守れなかった時のルールを決める。

オンラインゲームでのトラブルを防ぐためには

～オンラインゲームの通信機能を使い未成年者を誘い出す事件が相次いでいます。～

- ・ゲームの内容に応じてアプリストア内などに表示されている対象年齢を参考に、子供に遊ばせるゲームを決めてください。
- ・スマホの基本ソフト(OS)や、携帯電話事業者などが提供するフィルタリングサービスを利用してください。
- ・フィルタリングなどの対策は、スマホだけでなく、ネットにつながる小型ゲーム機や音楽プレーヤーにも必要です。

安全で安心なインターネット利用のために、すぐにできることは**フィルタリング利用**と**ルールづくり**です!